

BUSINESS REPORT 2022

第66期 中間報告書

2021.4.1～2021.9.30



株式会社田中化学研究所

株主の皆様へ

平素より格別のご理解とご支援を賜り、心から御礼申し上げます。

当社の第66期第2四半期（2021年4月1日から2021年9月30日まで）の事業の概況及び中間決算の状況につきまして、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご指導ご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2021年11月

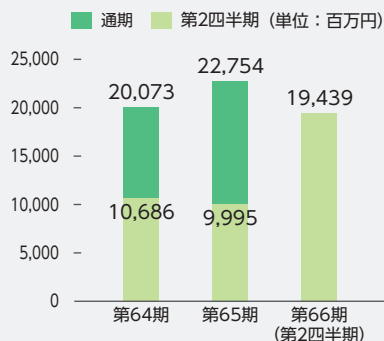


株式会社田中化学研究所
代表取締役 社長執行役員

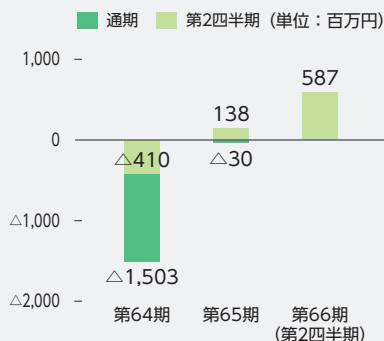
横川 和史

財務ハイライト

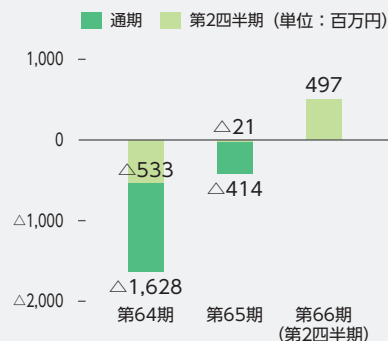
売上高



経常利益



四半期(当期)純利益



事業の概況

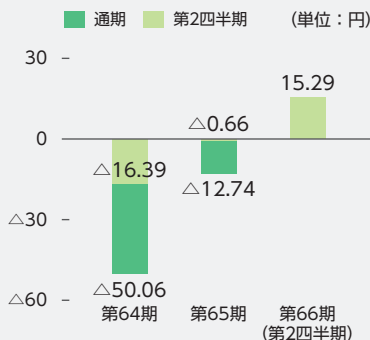
当第2四半期累計期間における二次電池業界は、新型コロナウイルス感染症が世界経済に影響を与える中、環境規制の高まりから車載用途が牽引し、リチウムイオン電池需要は依然としてプラス基調で推移しております。また、将来的にもさらに市場拡大が見込まれることから、蓄電池を脱炭素化の戦略物資と位置づけて蓄電池産業の基盤強化を目指し、世界各国で官民一体となった主導権争いが一層激しくなっております。

このような市場環境の中、当社といたしましては、インフラや組織人員含め増産対応の生産体制整備を進めてきており、顧客の需要増加時期に応じて順次生産稼働させるべく対応しております。

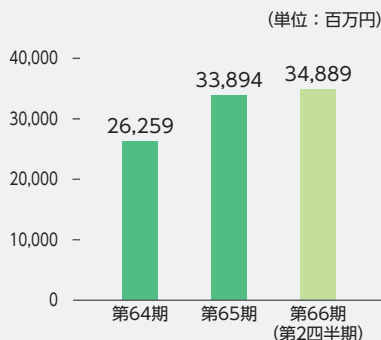
足下の業績をみると、販売面では民生用途の需要減少があるものの車載用途は増加基調で推移しており、新規設備の一部で生産稼働を開始しております。一方、コスト面では新規設備稼働や人員増加に伴い、減価償却費や労務費を中心に増加基調で推移しているものの、期初に想定したよりも当期間における経費の発生時期が後ろ倒しとなっており、利益の上振れ要因となっております。また、世界的な電池需要の拡大からも当社製品の主原料であるニッケル及びコバルトの国際相場が上昇基調で推移したことから、利益の大幅な増加要因となっております。

今後の先行きについては、新型コロナウイルス感染症の収束時期を含め同感染症が世界の経済社会へ与える影響を予測することは困難ですが、当社が属する二次電池業界においては、世界各国で厳格化が加速している環境規制への対応や各国の産業振興策によりEV普及が後押しされているといった背

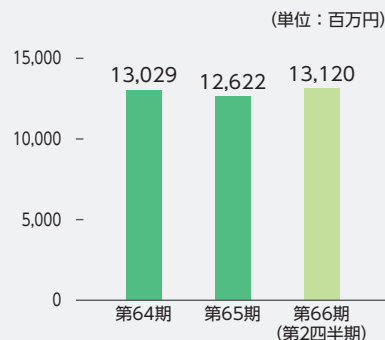
1株当たり四半期(当期)純利益



総資産



純資産



景から、世界的な需要は継続拡大していくものと仮定しております。

以上の結果、売上高19,439百万円（前年同四半期比94.5%増）、営業利益620百万円（前年同四半期比242.3%増）、経常利益587百万円（前年同四半期比323.5%増）、四半期純利益は497百万円（前年同四半期は四半期純損失21百万円）となりました。

主要な製品用途別の販売数量の概況は以下のとおりです。なお、当社は二次電池事業の単一セグメントであるため、セグメントごとに記載しておりません。

【リチウムイオン電池向け製品】

前年同四半期比で74.8%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- 車載用途は、前年同四半期に新型コロナウイルス感染症の影響により販売が減少したものの、足下においては主要顧客向けの需要が増加基調で推移したことから、前年同四半期比で136.8%の増加となりました。
- 民生用途は、最終製品の需要減少により販売が減少し、前年同四半期比で20.3%の減少となりました。

【ニッケル水素電池向け製品】

前年同四半期比で31.9%の増加となりました。用途別の増減は次のとおりです。

- 車載用途は、前年同四半期に新型コロナウイルス感染症の影響によるHV需要の減少を背景に主要顧客からの受注が減少しましたが、足下においては需要が回復してきたことから、前年同四半期比で41.0%の増加となりました。
- 民生用途は、市場縮小から数量自体が少量ですが、前年同四半期比で90.3%の減少となりました。

ご参考

(ニッケル国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2022年3月期	1,917	2,126	—	—
2021年3月期	1,324	1,525	1,681	1,883

(コバルト国際相場：円換算) (単位：円/kg)

	4~6月平均	7~9月平均	10~12月平均	1~3月平均
2022年3月期	5,128	6,014	—	—
2021年3月期	3,659	3,527	3,663	5,096

※ニッケル LME（ロンドン金属取引所）月次平均×TTS月次平均
コバルト LMB（ロンドン発行メタルブリテン誌）月次平均×TTS月次平均

私たちは「正極材料メーカー」です。

主要製品である正極材料は、リチウムイオン電池やニッケル水素電池などの「高性能二次電池」に使用されています。当社の開発した正極材料を使った製品が街中にあふれ、現代社会のあらゆる場所で活躍しているのです。

当社の主力製品



三元系正極材料



ニッケル系正極材料



水酸化ニッケル



水酸化ニッケル
(コバルトコート品)

より良い電池を生み出すために、当社の社員は日進月歩で進化する高性能な正極材料の開発・製造に挑んでいます。

二次電池

リチウムイオン電池

ニッケル水素電池

二次電池とは？
充電することで電気を蓄え、繰り返し使用できる電池のことです。

最終製品イメージ



タブレットPC・ノートパソコン・
電気自動車・電動工具など



ハイブリッドカー・
乾電池型二次電池など

暮らしに欠かせないスマートフォンを毎日のように充電して使えるのは、二次電池があるから。
ノートパソコンや電気自動車も二次電池が原動力になっています。

私たちは**先進テクノロジーを支える存在**です。

テクノロジーの進化に伴い、当社が開発した正極材料を使った製品はますます街中にあふれていきます。

個別財務諸表

貸借対照表

(単位：千円)

科目	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期 (2021年9月30日)
(資産の部)		
流動資産	12,960,913	14,009,199
現金及び預金	2,529,752	2,930,392
受取手形及び売掛金	4,538,248	5,570,688
電子記録債権	267,554	343,127
商品及び製品	1,206,124	1,826,058
仕掛品	1,840,752	1,578,092
原材料及び貯蔵品	1,565,780	1,738,121
その他	1,012,699	22,718
固定資産	20,933,782	20,880,296
有形固定資産	20,744,697	20,671,653
無形固定資産	6,068	6,775
投資その他の資産	183,016	201,867
その他	183,316	202,167
貸倒引当金	△ 300	△ 300
資産合計	33,894,696	34,889,495

科目	前期末 (2021年3月31日)	当第2四半期 (2021年9月30日)
(負債の部)		
流動負債	8,837,267	10,083,565
支払手形及び買掛金	3,806,915	5,296,562
1年内返済予定の長期借入金	1,500,000	1,500,000
未払法人税等	344,419	143,547
引当金	103,527	146,392
その他	3,082,404	2,997,063
固定負債	12,434,908	11,685,385
長期借入金	12,300,000	11,550,000
その他	134,908	135,385
負債合計	21,272,176	21,768,950
(純資産の部)		
株主資本	12,603,834	13,101,339
資本金	9,155,228	9,155,228
資本剰余金	6,662,707	6,662,707
利益剰余金	△ 3,211,994	△ 2,714,489
自己株式	△ 2,106	△ 2,106
評価・換算差額等	18,685	19,205
その他有価証券評価差額金	18,685	19,205
純資産合計	12,622,520	13,120,545
負債純資産合計	33,894,696	34,889,495

損益計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
売上高	9,995,841	19,439,500
売上原価	8,956,908	17,876,725
売上総利益	1,038,932	1,562,774
販売費及び一般管理費	857,781	942,678
営業利益	181,151	620,095
営業外収益	2,885	9,040
営業外費用	45,422	42,117
経常利益	138,615	587,018
特別利益	80,250	40
特別損失	68,208	392
税引前四半期純利益	150,656	586,666
法人税、住民税及び事業税	167,864	88,829
法人税等調整額	4,224	331
四半期純利益又は四半期純損失 (△)	△ 21,432	497,504

キャッシュ・フロー計算書 (要旨)

(単位：千円)

科 目	前第2四半期 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)	当第2四半期 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)
I 営業活動による キャッシュ・フロー	811,168	2,339,411
II 投資活動による キャッシュ・フロー	△ 5,354,375	△ 1,676,601
III 財務活動による キャッシュ・フロー	4,343,911	△ 251,454
IV 現金及び現金同等物に 係る換算差額	△ 21,347	△ 10,715
V 現金及び現金同等物の 増減額 (△は減少)	△ 220,643	400,639
VI 現金及び現金同等物の 期首残高	1,714,256	2,529,752
VII 現金及び現金同等物の 四半期末残高	1,493,613	2,930,392

役員の状況 (2021年10月1日現在)

代表取締役 社長執行役員	横川和史	
取締役	久野和雄	
取締役	小坂伊知郎	
取締役	田中浩	
取締役 (監査等委員)	大嶋哲夫	
取締役 (監査等委員)	増田仁視	
取締役 (監査等委員)	井上毅	
副社長執行役員	大畑尚志	(企画、総務人事、経理・システム、 購買物流、情報開示、IR担当)
執行役員	嶋川守	(製造技術、製造、設備、 品質管理担当 兼 品質管理部長)
執行役員	田中学	(営業、原料担当)
執行役員	中根堅次	(RC、研究開発担当)

株式の状況 (2021年9月30日現在)

- ①発行可能株式総数 普通株式 47,000,000株
- ②発行済株式の総数 普通株式 32,533,000株
- ③株主数 13,702名
- ④大株主の状況 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
住友化学株式会社	16,407,200	50.43
田中保	1,264,200	3.88
株式会社三菱UFJ銀行	460,000	1.41
田中浩	300,000	0.92
株式会社福井銀行	300,000	0.92
田中弘	220,000	0.67
INTERACTIVE BROKERS LLC	217,600	0.66
住友生命保険相互会社	210,000	0.64
小林裕武	185,000	0.56
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	173,600	0.53

(注) 持株比率は自己株式(1,119株)を控除して計算しております。

株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同 連 絡 先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 Tel : 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所 (JASDAQ市場)
公 告 方 法	電子公告により行う 公告掲載URL https://www.tanaka-chem.co.jp/ (ただし、電子公告によることができない事故、 その他のやむを得ない事由が生じた場合には、 日本経済新聞に公告いたします。)

会社概要

商 号	株式会社田中化学研究所
設 立	1957年12月
資 本 金	9,155,228千円
主な事業内容	二次電池用の正極材料の製造販売
従 業 員 数	333名
住 所	〒910-3131 福井県福井市白方町45-5-10
電 話 番 号	0776-85-1801 (代)
ホームページ	https://www.tanaka-chem.co.jp/



最新の当社IR情報等
ご覧いただけます。

(2021年9月30日現在)

お知らせ

株券電子化によるご注意

- (1)株券電子化に伴い、株主様の住所変更、単元未満株式の買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関（証券会社等）で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人（三菱UFJ信託銀行）ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- (2)特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関（三菱UFJ信託銀行）にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店にてもお取次ぎいたします。
- (3)未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。